

## 自然探勝コース[探索歩道]

自然探勝（しぜんたんしょう）コースは、蓮池（はすいけ）を起点、木戸池（きどいけ）バス停を終点とする手軽な自然探索歩道である。全長 4.1 キロメートル、標高差 160 メートルで、終点までの所要時間は約 2 時間。

亜高山帯湿原、山池、原生林など、志賀高原（しがこうげん）ならではの景色の中を通っており、その景色はどれも季節とともに変化する。早春から秋にかけては田ノ原湿原（たのはらしつげん）で湿地植物が花を咲かせ、秋には木戸池の水面に周囲の木々の葉が映し出される。このコースの代表的な景色の数々は、志賀高原ガイド組合の地元ガイドと一緒に巡るのがお勧めだ。

コースの中で特に注目したいのが、ワタスゲ（*Eriophorum vaginatum*）の群生に覆われたワタスゲ平と呼ばれる広大に広がる湿原だ。ワタスゲは夏に花を咲かせ、30～60 センチメートル長の小穂が開いて綿毛に覆われた白い房になることから、その名前が付けられた。湿原一面に花が咲き誇ると、真夏の雪に覆われているように見える。

コース沿いで目を引くもう 1 つの植物は、ヒカリゴケ（*Schistostega pennata*）と呼ばれる発光性のコケで、節くれだった木の根や落石の下の隙間で見ることができる。この緑がかったコケの光はリン光によるものではなく、特殊な細胞がほんのわずかな光を反射することで生ずるものである。